

# 平成29年度 事業報告

## 1 総括 ～振り返り～

### ○ 会員の新たなビジネス展開に向けた会員間の連携・協働の場や情報提供の充実

圏央道沿線地域の開発やインバウンドの対応策など、会員の関心の高いテーマについてのセミナーをタイムリーに開催するとともに、国内線利用動向の経年変化の調査やインバウンド周遊動向調査など新たなビジネス展開に向けた支援を行った。

また、成田空港から県内への二次交通やかかる研究会など、複数の会員が持つ課題解決に向けた協働の場を提供した。

### ○ 実需拡大に向けた“ナリタ”の魅力の更なる発信

圏央道茨城県区間の開通などをはじめ、交通アクセスの利便性が向上する中で、これらの効果が空港利用者の取り込みにつながるよう、千葉県内はもとより、圏央道沿線や国内線就航先などで積極的にプロモーションを実施し、“ナリタ”の魅力を発信した。

さらに、訪日外国人旅行者が年間2,800万人を超えるなど、ますます増加する訪日旅行需要を取り込むため、会員と連携したランドオペレーターとの商談会や外国語のポータルサイトを利用した情報発信等を実施した。

昨年度に引き続き、親子バス見学ツアーなどによりナリタファンの拡大につなげた。また、学生連携プロジェクト「女子旅×成田LCC」において、若年層の旅行需要の拡大に繋げるために継続した情報発信を行った。

### ○ 就航先等との連携・交流を通じた誘客促進

平成25年度から実施してきた北海道との交流を踏まえ、北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN北海道を実施した。また、今後の民間同士による継続的な相互交流に向けた動きを促進していくために、「パークゴルフを通じた北海道と千葉県の交流促進に係る協定」を締結した。

また、プロ野球宮崎キャンプやマリスタジアムにおいてスポーツツーリズムをテーマとした、「誘客」「送客」一体となった双方向のプロモーションを実施した。

## ○ これまでの活動の総括と今後の展開の検討

平成25年度に行った「成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査」を再度行うことで成田空港活用協議会の取り組みの成果を計る指標の1つとした。調査結果から国内線利用者の県内観光推進や若年層向けの国内線LCC認知度向上、首都圏向けの成田空港利用促進の取り組みなどに成果が見られた。

5月の総会において、複数の会員から意見が提起されたことを受けて、協議会の事業期間の延長を含めた今後のあり方について、幹事会で検討を重ねた。

11月の臨時総会において、幹事会の検討結果から、訪日外国人旅行客の飛躍的な増加やLCCの就航による航空需要の増大や第三滑走路の整備をはじめとした成田空港の機能拡充に向けた新たな動き、圏央道（大栄－松尾横芝間）の年度内着工などの高速道路網の整備進展の動き、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催など、30万回化の合意以降の大きな環境の変化を踏まえて、国際空港の立地を活かした経済活性化の可能性の拡大に対応するため、一定の活動期間を設定し、集中的に事業を行うため事業期間を5年間延長することを議題として提出するとともに、満場一致で期間延長が承認された。

## **主な成果**

### ① 経済活性化セミナー

○ 第1回セミナーでは、千葉県・成田空港と東北・北関東が圏央道でつながる意義・効果をどのように取り込んでいくかを考える機会を持つとともに、セミナーに併せて、圏央道大栄JCT－幸手IC間を実際に利用し、幸手中央地区産業団地を視察するバスツアーを実施することで成田空港と北関東が圏央道でつながる意義・効果を体感することができた。

第2回セミナーでは、「千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査」の調査結果について説明し、インバウンドの取り込みの必要性や重要性と対応のポイントについて情報提供することが理解できた。

第3回セミナーでは、デービッド・アトキンソン氏（株小西美術工藝社 代表取締役社長）による“インバウンド観光需要をいかに千葉県経済の活性化につなげるか”と題した特別講演を実施し、今後のインバウンドの取り組みが活性化されることへの期待が高まった。

いずれも会員の関心が高いテーマであり、タイムリーに実施したことから、会員のビジネス展開に資するセミナーとすることができた。

## ② マーケットリサーチ

- 平成25年度に行った「成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査」を再度行うことで成田空港活用協議会の取り組みの成果を計る指標の1つとするとともに、成田空港活用協議会の会員が千葉県内の観光・産業振興の取り組みに幅広く活用することができた。

また、千葉県を訪れるインバウンドの県外を含む周遊動向などを探り、会員企業・団体がインバウンドを呼び込むための基礎データを収集することができた。

## ③ 会員の新たな事業展開等に向けた協働の場づくり

- 平成28年度に行ったバス運行シミュレーションや千葉県のバス実証実験の結果から、採算人員を確保するため、インバウンドをターゲットにランドオペレーターを活用した誘客促進に取り組んだ。研究会を通して、二次交通には、まず地域を知ってもらい多くの人々に来てもらうことが優先であり、地元の魅力づくりが大切であるとの認識を持つことができた。

## ④ 北関東でのナリタPR

- 圏央道境古河―つくば中央間の開通により、成田空港へのアクセス利便性が向上する『北関東エリア』において、国内線についても成田空港が便利であることを知ってもらうことを目的に千葉県と連携した前橋のショッピングモールを活用した旅行需要喚起策を実施し、成田空港の“認知度向上”を図ることができた。

## ⑤ 県内・首都圏エリアにおけるナリタPR

- 県内向けでは、県内金融機関や駅などで成田空港の持つ豊富な航空ネットワークや交通利便性をPRすることができた。

また、首都圏向けでは、昨年度に引き続き、東京駅近くにおいて、県の実施する期間限定アンテナショップ「ちばI・CHI・BA」に出展し、首都圏から成田空港への充実した交通アクセスや豊富な航空ネットワークについてPRすることができた。

## ⑥ 海外向け誘客促進

- 昨年度に続き、東アジアや東南アジアの両地域を手掛けるランドオペレーターとの「商談会・交流会」を実施したところ、ランドオペレーターによる施設の視察など具体的な事業展開につながった。

また、昨年度に引き続き、外国人向けウェブマガジンを媒体に、外国人目線からの成田空港を中心とした県内観光地の魅力について、多言語による情報発信を行うことができた。

#### ⑦ ナリタファンの拡大に向けた取組

- 成田空港をより身近な存在として認識し、親しみを持つナリタファンの拡大に向けては、昨年、一昨年と好評だった「成田空港親子見学バスツアー」を今年度も実施し、成田空港の魅力と安全運航のために真剣に働いている人たちの姿を伝えることができた。

また、会員向けに、空港の制限区域内の見学や空港周辺及び圏央道の将来展望などの説明を受けながら、圏央道の建設予定地等を見て回るバス見学を実施し、過去から現在へと続く成田空港の歴史と将来の展望を肌で感じていただくことができた。

#### ⑧ 「女子旅×成田LCC」を活用した国内線就航先PR

- 千葉県の魅力等について、若年層の女性がよく利用するWEB媒体やSNSを活用した情報発信を行なうことで、ターゲット層へPRすることができた。

また、旅をテーマにした野外フェスや成田空港において、プロジェクト参加学生自身が取材を行った千葉県や就航先の魅力について、PRする機会を作ることができた。

#### ⑨ 北海道との交流促進

- 通算で4回目となる「北海道・千葉交流パークゴルフ大会」及びパークゴルフモニターツアーを行った。また、パークゴルフを通じた道県の交流の促進を目的として、道県のパークゴルフ場が主体となり、プレー料金等のインセンティブの付与などを盛り込んだ協定を締結し、調印式を行った。協定の締結によりパークゴルフを通じた相互交流がますます促進されることへの期待が高まった。

#### ⑩ 国内線就航先と連携したPR、交流促進

- 県内のプロスポーツチームや就航先のプロスポーツキャンプと連携し、ビジター戦観戦には安くて、便利な成田LCCを利用してもらえるよう、誘客、送客一体となった相互PRを行うことができた。

また、これまで交流を実施してきた北海道を対象に、地方メディア（テレビ及び新聞）を活用したプロモーション及び旅行会社と連携し、成田空港国内線

を利用した北海道発千葉県ツアーを造成・販売した。

⑪ 要望活動

- 昨年引き続き、関係2団体とともに、国等に対して圏央道と北千葉道路の整備推進に関する要望活動を行った。

## 2 事業の概要

### (1) 誘客促進事業

#### ア 国内線就航先との交流促進

##### ① 北海道との相互交流の促進

平成25年度から実施してきた北海道との意見交換などを踏まえ、平成27、28年度には相互交流を目的として、北海道・千葉交流パークゴルフ大会及びパークゴルフモニターツアーを道県において交互に実施した。

平成29年度は、昨年度に引き続き、相互交流の定着を目的として、北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N北海道を実施し、北海道へのパークゴルフモニターツアーなどを行った。

また、更なる展開として、今後の民間同士による継続的な相互交流に向けた動きを促進していくために、「パークゴルフを通じた北海道と千葉県の交流促進に係る協定」を締結した。

#### ○北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N北海道及び千葉県からのモニターツアー

平成27、28年度に引き続き、平成29年度は、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N北海道」及び千葉県からのモニターツアーを実施した。

##### 《パークゴルフ大会、表彰式・交流会》

- ・日 時：平成29年10月5日（木）
- ・場 所：札幌パークゴルフ倶楽部福移の杜コース
- ・内 容：開会式、競技、表彰式・交流会
- ・参加者：139名（千葉県からのモニターツアー参加者39名、北海道のパークゴルフ愛好者100名）

##### 《モニターツアー》

北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N北海道の開催にあわせて、LCCや北海道でのパークゴルフの体験を目的としたモニターツアーを実施した。

- ・日 程：平成29年10月4日（水）～6日（金）
- ・参加者：39名

・ ツアー行程 :

日次	月日	行程
1 日 目	10月4日 (水)	【往路ジェットスター便】 6:30 集合 8:10 発 9:50 着 成田空港 → ✈️ → 新千歳空港 → 札幌パークゴルフ倶楽部福移の杜コース → ホテル 宿泊先: ホテルマイステイズプレミア札幌パーク
2 日 目	10月5日 (木)	午前: ホテル 7:20 → 札幌パークゴルフ倶楽部福移の杜コース (北海道・千葉交流パークゴルフ大会 IN 北海道) 午後: 表彰式・交流会 (12:30~14:30) (交流会では景品が当たる抽選会も開催) → 車窓観光 (大通り公園・札幌時計台) → ホテル 宿泊先: ホテルマイステイズプレミア札幌パーク
3 日 目	10月6日 (金)	ホテル 8:30 → 恵庭花夢里パーク → 17:55 発 19:30 着 → 新千歳空港 → ✈️ → 成田空港 到着後 各自解散 【復路ジェットスター便】

○ 協定締結に係る調印式

公益社団法人日本パークゴルフ協会公認の北海道の4パークゴルフ場と同協会公認で関東パークゴルフ場協議会加入の千葉県の6パークゴルフ場がパークゴルフを通じた北海道と千葉県の交流を促進することを目的に協定を締結した。

- ・ 日 時: 平成29年10月5日 (木) (パークゴルフ大会開会式終了後)
- ・ 場 所: パークゴルフ大会会場内
- ・ 内 容: 協定締結に係る調印式

② 女子旅×成田LCCの更なる展開について

平成27年度学生連携事業として実施した『女子旅×成田LCC』の発展形として、昨年度に引き続き、ターゲットである若年層の女性が良く利用するWEB媒体、SNSを活用し千葉県やLCCの魅力について情報発信を行った。

また、千葉県及び周辺都県の若年層に向けた成田LCCの利用促進を目的とし、千葉県内での旅をテーマとしたイベントでのPRやLCC国内線就航先についての情報発信を実施した。

○ 学生によるSNSを活用した情報発信等

《Instagramアカウント『女子旅 by 成田LCC』での情報発信》

平成28年10月より開設した Instagram『女子旅×成田LCC公式アカウント(jyoshitabi\_naritalcc\_official)』にて、「女子旅」をコンセプトとした画像を毎日紹介した。

開始から1年5か月でフォロワー数5,400人を突破。「#lcc 女子旅」を付与した投稿も35,000件を超えた。

期間：平成28年10月18日から平成30年3月23日まで

#### 《千葉県情報、LCC情報の発信》

学生メンバーが実際に千葉県内のスポットを現地調査し、ブログ等で情報発信を行なうとともに、LCC情報（路線の紹介等）、成田空港情報など、学生のLCC利用にあたり関心のある情報の発信も行った。

ブログ記事は、SNS（Facebook、Twitter など）とも同期させ、各媒体を通じた情報拡散も展開した。

### ○「旅」をテーマとした千葉県内イベントでのプロモーション

日本で唯一の「旅」をテーマとして大型イベントであり、旅好きの若年層が集まる『旅祭2017』において、NAAと共同でブース出展を行い、参加者に対して成田LCCや千葉県内観光スポットのPRを実施した。

日程：平成29年9月3日（日）

場所：千葉県立幕張海浜公園

### ○沖縄の学生とのテレビ電話による意見交換会

沖縄観光コンベンションビューローの企画「学卒プロジェクト」に参加している沖縄県の学生とテレビ電話による意見交換会を実施した。

日程：平成29年10月26日（木）

内容：千葉県及び沖縄県のイメージ、LCCのイメージ、SNSの利用状況、千葉県への来訪状況 等

### ○成田LCCを活用した就航先訪問及び情報発信

千葉県内及び周辺都県の若年層をターゲットとし、成田LCCの利用促進やLCC就航先の認知度向上を目的に、LCC就航先をPRするパンフレットを作成し、成田空港内での情報発信を行った。

また、パンフレット設置初日に、学生が成田空港第3ターミナルにてプロモーションを実施した。



設置開始日：平成30年3月27日（火）

設置場所：成田空港第1ターミナル 北ウイング1階国際線到着ロビー  
南ウイング1階国際線到着ロビー  
第2ターミナル 国内線ビル2階コンコース  
第3ターミナル 本館2階フードコート脇

配布予定数：5,000部程度

〈プロモーション〉

日時：平成30年3月27日（火）14時～16時

場所：成田空港第3ターミナル本館2階出入口前

内容：お客様へのパンフレット配布、「女子旅×成田LCC」活動PR

### ③ スポーツツーリズムをテーマとした就航先との交流促進

千葉県内プロスポーツチームと連携し、ビジター戦観戦には安くて、便利な成田LCCを利用してもらえるよう、観戦に訪れた野球ファンにチラシを配布するとともに、就航先チームのファンにも成田LCCの魅力を知ってもらうためラジオCMを通じてPRを行った。

また、ジェットスター・ジャパンが新規就航した宮崎において、キャンプを見に来ている野球ファンに、宮崎からプロ野球観戦などで成田空港を利用してもらうためのPRを行った。

## ○千葉ロッテマリーンズ

### 《オープン戦での成田空港活用PR》

オープン戦観戦に訪れた野球ファンに対し、豊富な成田空港国内線ネットワークやLCCの安さの秘密、他の交通手段との比較などを紹介したチラシを配布した。

日程：平成30年3月17日（土）福岡ソフトバンクホークス戦

配布場所：ZOZOマリンスタジアム 入場ゲート

配布枚数：10,000枚

### 《プロ野球オープン戦期間中のラジオ放送CM》

就航先エリア（北海道・東北・福岡）及び千葉エリアのラジオ放送局で、プロ野球オープン戦期間中にラジオCMを通じてビジター戦観戦には安くて、便利な成田LCCを利用してもらえるようなPRを行った。

(1) 北海道エリアのオープン戦ラジオ放送でのラジオCM  
放送日 平成30年3月2日(金)、3日(土)  
放送番組 北海道日本ハムファイターズ対千葉ロッテマリーンズ戦  
(HBC北海道)

(2) 北海道、東北、福岡エリアのラジオ番組内でのラジオCM  
放送日 平成30年3月24日(土)  
放送番組 三都物語(HBC北海道、TBC東北、RKB毎日)

(3) 千葉エリアのラジオ番組内でのラジオCM  
放送日 3月毎週月曜日(計4回)  
放送番組 We Love MARINES(ベイエフエム)

#### 《新規就航先の宮崎でのPR》

ジェットスター・ジャパンが新規就航した宮崎では、多くのプロ野球チームがキャンプを行っており、それを見に多くのファンが訪れていることから、NAA及びジェットスター・ジャパンと連携のもとに宮崎からプロ野球観戦などで成田空港を利用してもらうために、出展ブースでのアンケートの実施やチラシ配布、ステージイベントを行った。

日程：平成30年2月10日(土)～平成30年2月12日(月)

場所：宮崎サンマリスタジアム 出展ブース

#### ④ 就航先メディアを活用した情報発信

成田空港からの国内線就航先の方を千葉へ誘客するために、地方メディアを活用した情報発信を展開した。

た、旅行会社と連携し実際に千葉県へ足を運んでもらう機会を作り、千葉県に来ていただいた方へのアンケートを実施した。

#### 《地方メディアを活用したプロモーション》

これまで交流を実施してきた北海道を対象に、地方メディア(テレビ及び新聞)を活用し、千葉県の観光資源やLCCの利便性を知ってもらい、千葉県へ行きたいと思ってもらえるようなプロモーションを展開した。

##### (1) 北海道でのテレビ放送

番組名：「イチオシ！モーニング 土曜日」

放送日：平成30年2月24日(土)

番組枠：90分番組（6：30～8：00）

特集コーナー放送枠：約15分

(2) 新聞への千葉県PR記事掲出

掲出日：平成30年2月24日（土）

掲出枠：10段カラー

発行部数：600,000部程度

#### 《北海道発千葉県ツアーとの連携による誘客及び情報収集》

旅行会社と連携し、成田空港国内線を利用した北海道発千葉県ツアーを造成・販売することで、千葉県への誘客を実現するとともに、ツアー参加者を対象としたアンケート調査による情報収集を行った。

ツアー名：「ぎゅぎゅっと房総イチオシ！スペシャル」

期 間：平成30年3月19日（月）～5月20日（日） ※二泊三日

予定本数：24本

## イ 海外向け誘客促進

### ○ランドオペレーターとの商談会の開催

千葉インバウンド促進協議会と共同で、旅行の地上手配を行うなど旅行商品の造成に深く関わるランドオペレーターに対して、会員企業・団体が直接PRすることで今後の旅行商品の造成につなげることを目的として開催した。

実施日：平成30年2月22日（木）

会 場：オークラアカデミアパークホテル

参加者：ランドオペレーター 13社

会員企業・団体 36団体（社）

（千葉インバウンド促進協議会会員を含む）

### ○海外向けWEBでの情報発信

千葉県やナリタの魅力をより多くの外国人に伝えるため、会員と連携して東京と成田空港の間の寄り道スポットやSNS映えするスポットについて、外国人向けウェブマガジンによる多言語の情報発信を行なった。

媒 体：外国人向けウェブマガジン「Matcha」

配信言語：8か国語

## (2) 空港利用促進事業

### ア 関東圏でのナリタPR

#### ① 県内、首都圏エリアにおけるナリタPR

県内・首都圏における成田空港の更なる認知度向上及び利用者増を目的に、豊富な国内線・国際線ネットワークや、アクセス利便性の向上など、進化を続ける“ナリタ”の魅力について情報発信を実施した。

#### ○県内金融機関等での成田空港PRポスターの掲出及びチラシの配布

期間：8月7日（月）から随時

場所：県内郵便局（689局）、県内会員金融機関、京成電鉄各駅 等

内容：国内線・国際線ネットワークや就航先の魅力の紹介

部数：ポスター877部、チラシ9,550部

#### ○東葛地区でのプロモーション

会員のPRパンフレット等の配布（400部）、国内線ネットワークや就航LCCをPRするパネルの展示、「チーバくん」によるフォトグリーティング、航空機及び就航先のミニチュアを閉じこめた「氷のオブジェ」の展示を実施した。

日時：平成29年8月9日（水）13時～18時

場所：JR柏駅東口前ダブルデッキ Eスペース

#### ○県期間限定アンテナショップ「ちばI・CHI・BA」でのプロモーション

出張や旅行などで成田空港を利用してもらうことを目的に会員のPRチラシの配布や「チーバくん」によるグリーティング、大型モニターでのPR動画の放映、抽選会などを行い、首都圏から成田空港への充実した交通アクセスや豊富な就航先についてPRした。

日時：平成29年12月11日（月）11時30分～15時30分

場所：JPタワー「KITTE」地下1階

東京シティアイパフォーマンスゾーン

千葉県アンテナショップ「ちばI・CHI・BA」

## ② 北関東でのナリタPR

圏央道（境古河IC～つくば中央IC間）の開通により、成田空港へのアクセス利便性が向上した『北関東エリア（群馬）』において、千葉県夏の観光PRイベントの実施に併せて、より便利になった成田空港を知ってもらう“認知度向上”を目的としたPRを実施した。

日時：平成29年7月1日（土）10時～17時

場所：けやきウォーク前橋 1階けやきコート

内容：会員のPRチラシ等の配布（800部）やステージイベントでのPRによる成田空港へのアクセス利便性の向上、国内線・国際線ネットワーク、ターミナル施設、千葉県観光などの紹介

## イ ナリタファンの拡大に向けた取組

### ○成田空港親子見学バスツアー

昨年度に実施した親子見学バスツアーに多数の応募があり、とても好評であったことから、今年度においても成田空港及びその周辺に親しむことにより、成田空港を身近に感じ、「ナリタファン」になっていただくため、バスツアーを実施した。

実施日：千葉発 平成29年10月22日（日）

柏 発 平成29年10月29日（日）

参加者数：合計80名

見学先：成田空港（ランプコントロールタワー）、航空科学博物館、JAL整備用格納庫

### ○会員向け見学バスツアー

会員向けに、成田空港をより身近に感じ理解を深めていただくために空港の制限区域内の見学や空港周辺及び圏央道の将来展望などの説明を受けながら、圏央道の建設予定地等を見て回るバス見学を実施した。

実施日：平成29年10月25日（水）、平成29年11月8日（水）

見学先：成田空港（ランプコントロールタワー、制限区域）、空港周辺施設、空と大地の歴史館

### (3) ビジネス支援事業

#### ア 会員の新たな事業・ビジネス展開に向けた協働の場づくり

##### ○成田空港からの二次交通等に関する研究会

昨年度に引き続き、千葉県旅館ホテル組合等 4 団体で構成する成田空港と外房地区を結ぶバス路線についての二次交通等の可能性を検討する研究会を実施した。

平成 28 年度に行ったバス運行シミュレーションの試算・千葉県バス実証実験結果により、バス運行採算人員を確保することが難しいことがわかり、研究会のテーマを「インバウンド誘客」へと変更し、ランドオペレーター 2 社との意見交換会・現地視察を実施した。

#### 1. 事業の概要

##### ●研究会のメンバー

- 地元自治体 (鴨川市、勝浦市)
- 地元観光業者 (千葉県旅館ホテル組合)
- 地元観光団体 (鴨川市観光協会、勝浦市観光協会)
- 地元商工会 (鴨川市商工会、勝浦市商工会)
- 千葉県 (空港地域振興課、観光企画課、観光誘致促進課)
- 成田国際空港㈱

#### 2. 研究会の概要

##### ●JTBグローバルマーケティング&トラベル (GMT) との意見交換会に向けた事前説明会

日時：平成 29 年 7 月 20 日 (木) 13:00~14:00

場所：千葉県経営者会館

内容：①意見交換会 9 月開催予定

②プレゼン準備

③現地視察 11 月~12 月開催予定

④海外からの旅行プラン組入

●GMTとの意見交換会のプレゼン打合せについて

日時：平成29年8月28日（月）14：00～15：20

場所：成田国際空港(株)

内容：①鴨川市プレゼン、質疑応答

②勝浦市プレゼン、質疑応答

③9月22日意見交換会の注意事項等

●GMTとの意見交換会

日時：平成29年9月22日（金）14：30～16：30

場所：GMT本社

内容：①GMTの事業説明

②鴨川市・勝浦市よりの魅力紹介

③質疑応答、意見交換

④現地視察会の実施

●ランドオペレーター（GMT）による現地視察

日程：平成29年12月11日（月）～12月12日（火）

内容：

① 鴨川市

- ・鴨川市長表敬訪問、鴨川シーワールド、ホテル視察（鴨川シーワールドホテル、鴨川館、鴨川グランドホテル、鴨川ユニバースホテル）
- ・鴨川ユニバースホテル宿泊
- ・農家民泊（太右エ門、五郎兵エ）、大山千枚田

② 勝浦市

- ・カッピービジターセンター、遠見岬神社、本行寺、松の家旅館、覚翁寺、高照寺、レンタサイクル周遊コース（八幡岬公園、官軍塚）、
- ・ホテル視察（勝浦ホテル三日月）

## ●二次交通研究会まとめ

日時：平成30年3月14日（水）13：00～14：40

場所：プラザ菜の花

内容：① GMTによる現地視察の感想・成果

鴨川市・勝浦市・旅館ホテル組合

② 千葉県観光誘致促進課よりバス補助事業の説明

③ GMTの商品化進捗状況

④ 二次交通研究会の総括

## イ 経済活性化セミナー

### ○『第1回県内経済活性化ビジネスセミナー「圏央道開通で6つの高速道路と結ばれる成田空港」の実施

平成29年2月26日に圏央道境古河IC—つくば中央ICが開通したことを受け、会員に千葉県・成田空港と東北・北関東が圏央道でつながる意義・効果から未開通区間（大栄JCT—松尾横芝IC）の早期開通の必要性を考える「平成29年度第1回経済活性化ビジネスセミナー」を開催した。

併せて、今回の圏央道開通により、埼玉県東部を始めとした北関東と成田空港が直結したことを体感するバスツアーも開催した。

実施日：平成29年4月18日（火）

会場：ホテル グリーンコア会議室（埼玉県幸手市）

内容：

#### （1）セミナー

##### ①『インフラ整備を取り巻く状況と道路整備』

講師 国土交通省関東地方整備局道路部 鈴木道路企画官

##### ②『圏央道の開通の意義と期待』

講師 幸手市政策調整課 手島課長

##### ③『圏央道の整備効果と成田空港をにらんだ物流戦略について』

講師 大和ハウス工業㈱ 竹林事業部長

#### （2）圏央道体感ツアー

『成田空港と圏央道整備による千葉県の発展方向と課題』

講師 ㈱ちばぎん総合研究所 小松調査部部長

参加者：103名



## ○『第2回県内経済活性化ビジネスセミナー「2020年東京オリ・パラに向けてインバウンド観光のレガシーをつくろう！～千葉県インバウンドの対応力向上に向けた調査結果報告～」』の実施

平成28年度に実施した「千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査」の調査結果について、会員のビジネスチャンスやインバウンド施策につなげるため、「2020年東京オリ・パラに向けてインバウンド観光のレガシーをつくろう！～千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査結果報告～」と題したセミナーを、平成29年度総会に併せて実施した。

実施日：平成29年5月26日（金）

会場：三井ガーデンホテル千葉3階「平安」

内容：テーマ「千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査」

講師（株）ちばぎん総合研究所 調査部長 関 寛之 氏

参加者：127名

## ○『第3回県内経済活性化ビジネスセミナー「インバウンド観光需要をいかに千葉県経済の活性化につなげるか」』の実施

外国人有識者による知見を得ることで、戦略的にインバウンド対策に取り組むなど、会員等の理解をより一層高めることを目的として、デービッド・アトキンソン氏による特別講演を実施した。

実施日：平成29年11月27日（月）

会場：オークラ千葉ホテル

内容：テーマ「インバウンド観光需要をいかに千葉県経済の活性化につなげるか」

講演者 デービッド・アトキンソン氏

参加者：137名

## ウ マーケットリサーチ

### ① 成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査の実施

平成25年度に「成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査」を行い、調査結果を基に各種事業を展開した。調査を再度行うことで成田空港活用協議会の取り組みの成果を計る指標の1つとするとともに、成田空港活用協議会の会員が千葉県内の観光・産業振興の取り組みに幅広く活用するための基礎資料とすることを目的に実施した。

[調査の内容]

○調査期間：平成29年8月3日から9日

調査方法：インターネットによるウェブ・アンケート調査

調査対象：全国の15歳以上の男女6,100人

調査項目：属性/成田空港の利用動向/成田空港国内線利用時の県内来訪動向/  
アクセス（2次交通）/成田空港利用前後の比較（対羽田空港）/国内線・  
LCCの認知度/成田空港の潜在的な利用ニーズ（未利用者が対象）

## ② インバウンド周遊動向調査の実施

会員企業及び団体からインバウンドの周遊動向に関する更なる深掘り調査の要望が寄せられたことから、千葉県を訪れるインバウンドの県外を含む周遊動向などを探り、会員企業・団体がインバウンドを呼び込むための基礎データを収集することを目的に「インバウンド周遊動向調査」を実施した。

[調査の内容]

○調査期間：平成29年9月11日から11月30日

調査方法：県内宿泊施設でのアンケート調査

調査対象：訪日外国人

調査項目：属性/今回の旅行について/千葉県について/周遊ルートについて

## （4）要望活動

### ○首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

昨年度に引き続き、圏央道及び北千葉道路の整備推進に関する要望活動を、関係2団体とともに、国等関係先に対して行った。

実施日：平成29年11月27日（月）

要望先：財務大臣、国土交通大臣、副大臣、政務官ほか国土交通省幹部職員及び  
県選出国會議員

同時に要望した関係団体：

千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟

首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

## (5) 会員提案の検討・実施

### ○会員提案の募集

本県の経済活性化につながる取組として、他の会員との連携・協働により実現したいこと及び協議会事業全般についての自由意見を募集した。

募集期間：平成29年4月10日（月）～4月28日（金）まで

提案状況：① 他の会員との連携・協働で実現したいこと（24件）

② 自由意見件数（3件）

### ○会員提案の検討・具体化（平成29年度事業への取り入れ）

平成29年度事業計画に位置付けられている以下の事業に会員提案を取り入れ実施した。

- ・北海道・千葉パークゴルフ交流大会及びモニターツアーの実施（H26提案）
- ・スポーツツーリズムをテーマとした国内線就航先との連携（H28提案）
- ・就航先メディア等を活用した千葉の魅力や成田LCC等の情報発信  
(H29提案)
- ・ランドオペレーターとの商談会の実施（H26提案）
- ・県内の東葛エリアでのプロモーションの実施（H29提案）
- ・北関東エリアの商業施設等でのイベント開催（H28提案）
- ・成田空港からの二次交通の確保に向けた検討（H27提案）
- ・国内線利用動向調査（H29提案）
- ・圏央道の早期全線開通にかかる要望活動（H25提案）
- ・北千葉道路整備の早期事業化にかかる要望活動（H25提案）

## (6) その他

- 協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより、各種メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。
- 協議会の会員向けにメール等での情報発信を行い、会員間における活動状況や成果の共有を図った。
- 会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。

## (参考) 会議等の開催状況

### (1) 総会

期 日：平成29年5月26日（金）

場 所：三井ガーデンホテル千葉

- 議 題：① 平成28年度事業報告について  
② 平成28年度収支決算について  
③ 平成29年度事業計画（案）について  
④ 平成28年度収支予算（案）について  
⑤ 役員を選任について

### (2) 臨時総会

期 日：平成29年11月27日（月）

場 所：オークラ千葉ホテル

- 議 題：① 成田空港活用協議会の事業期間の延長について  
② 規約の改正について  
③ 役員を選任について

### (3) 幹事会

#### 【第1回】

期 日：平成29年5月12日（金）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

- 議 題：(1) 平成29年度総会議案について  
(2) 総会に向けた確認事項について

#### 【第2回】

期 日：平成29年5月30日（火）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

- 議 題：(1) 報告案件  
① 第1回県内経済活性化ビジネスセミナーについて  
② 第2回県内経済活性化ビジネスセミナーについて  
(2) 事業採択案件  
① 空港利用促進キャンペーンの展開について  
② 就航先メディアを活用した情報発信について

- ③ ナリタファンの拡大に向けた取組について
- ④ マーケットリサーチ(成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査)について
- (3) 協議事項
- 成田空港活用協議会の今後のあり方について

#### 【第3回】

期 日：平成29年6月21日(水)(書面による事業採択)

議 題：(1) 事業採択案件

- 北海道との相互交流の促進について

#### 【第4回】

期 日：平成29年8月8日(火)

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：(1) 報告案件

- 空港利用促進キャンペーンの展開について(北関東向け)
- (2) 事業採択案件
- ① 女子旅×成田LCCの更なる展開について
- ② JTBグローバルマーケティング&トラベルとの意見交換会について
- ③ マーケットリサーチ(インバウンド周遊動向調査)について
- (3) 協議事項
- 成田空港活用協議会の今後のあり方について

#### 【第5回】

期 日：平成29年9月4日(月)

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：(1) 報告案件

- ① 空港利用促進キャンペーンの展開について
  - ・ 県内金融機関等での成田空港PRポスターの掲出及びチラシの配布
  - ・ 東葛地区でのプロモーション
- ② 北海道との相互交流の促進について
- (2) 協議事項
- 成田空港活用協議会の今後のあり方について

**【第6回】**

期 日：平成29年9月22日（金）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）協議事項

- 成田空港活用協議会の今後のあり方について

**【第7回】**

期 日：平成29年11月16日（木）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）協議事項

- ① 成田空港活用協議会の今後のあり方について
- ② 平成29年度臨時総会議案について
- ③ 臨時総会に向けた確認事項について

**【第8回】**

期 日：平成29年12月12日（火）（書面による事業採択）

議 題：（1）事業採択案件

- ランドオペレーターとの商談会・交流会の実施について

**【第9回】**

期 日：平成30年2月2日（金）（書面による事業採択）

議 題：（1）事業採択案件

- ① スポーツツーリズムをテーマとした就航先との交流促進
- ② 海外向け誘客促進

**【第10回】**

期 日：平成30年3月7日（水）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）協議事項

- 事業計画（素案）の策定について
- （2）報告案件
  - ① 北海道との相互交流の促進について
  - ② ナリタファンの拡大に向けた取組について
  - ③ 空港利用促進キャンペーンの展開について

- ④ マーケッツリサーチについて（国内線利用動向調査）
- ⑤ 第3回県内経済活性化ビジネスセミナー
- ⑥ 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

**【第11回】**

期 日：平成30年3月28日（水）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）協議事項

- ① 平成29年度事業報告（素案）及び決算（見込み）について
- ② 5年間の事業計画（素案）
- ③ 平成30年事業計画（素案）及び予算（素案）について
- ④ 平成30年度総会次第（案）について

（2）事業採択案件

- 平成30年度第1回県内経済活性化ビジネスセミナーについて

（3）報告案件

- ① 就航先メディアを活用した情報発信について
- ② 女子旅×成田LCCの更なる展開について
- ③ 二次交通研究会
- ④ マーケッツリサーチについて（インバウンド周遊動向調査）
- ⑤ ランドオペレーターとの商談会・交流会の実施について
- ⑥ スポーツツーリズムをテーマとした就航先との交流促進
- ⑦ 海外向け誘客促進